

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
355		介護予防・生活支援事業	01		一般会計
			03		民生費
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	02		老人福祉費
			01		老人福祉総務費
担当部課名	島ヶ原支所 健康福祉課		102		在宅老人援護事業
作成者氏名	脇坂 長充	連絡先	0595-59-2163	06	介護予防・生活支援事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	旧措置者及び介護保険法に規定する「要介護」「要支援」に該当しない高齢者 一人暮らし、高齢者世帯の高齢者	「要支援」又は「要介護」状態になることなく、機能の維持・向上を図り、住み慣れた地域で自立した生活が送れる。			
本年度事業内容	デイサービスセンターしまがはらへの通所により、日常生活動作訓練、趣味活動、食事、送迎等のサービスを提供する。 ホームヘルパーが一人暮らし高齢者、高齢者世帯を訪問し安否確認、生活介助を行なった。				
開始年度	平成 17 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市生きがい活動支援通所事業実施要綱

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	670	1,135	1,000
	委託料	670	1,135	1,000
	その他			
	合計(A+B)	1,390	1,855	1,720
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	1,390	1,855	1,720	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
サービスの利用率	%	65.5	100	100			
サービス費用	千円	310	1135	1000			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
通所サービスの利用率	年間を通して何人がサービスを利用したか。	%	65.5 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

事業の対象者である旧措置者は死亡又は介護保険の要介護者に移行していくので、年々減少していることを考えて、目標の設定を考えなければならない。

評価	必要性	3	執行方法等の変更を行なう。 介護保険制度から漏れた虚弱高齢者を対象とした事業であり、必要ではあるが介護保険制度との兼ね合いも含め効率性を考え、対象者の把握等検討の余地がある。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	2		B
	効率性	3		